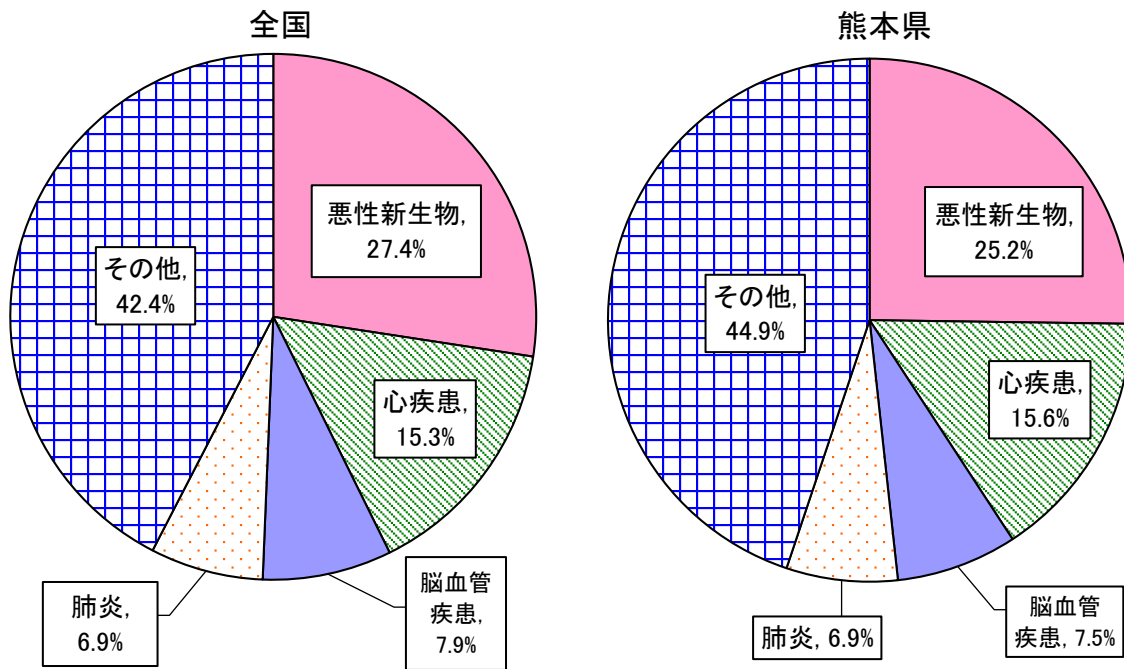


## 死因別死亡者数構成比（平成30年）



### 解 説

#### 【概要】

平成30年の県内死亡者は21,380人であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いのが悪性新生物の5,393人、次いで心疾患の3,329人、脳血管疾患の1,598人、肺炎の1,470人と続いており、以上4つの死因で全体の55.1%を占めた。

#### ○死亡者数

1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。

#### ○悪性新生物

一般にガンと呼ばれている病気のこと。

#### ○心疾患

心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。

#### ○脳血管疾患

脳出血、脳梗塞などが含まれる。

資料出所	調査期日	調査周期
「人口動態調査」 厚生労働省	平成30年	毎年